

第23回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第23回会合の日時・出席者・概要等については、以下に示すとおりである。

日 時：2025（令和7年）年3月21日（金）15時00分～17時00分

場 所：大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（第2~4号委員、規程順・五十音順、敬称略）

蔭山 秀一、田中琢哉、鳥居敬、舟橋孝之、箸本史朗、川上智子

研究科教員

梶原武久、上林憲雄、三矢 裕（第1号委員）

國部克彦、三古展弘、中村絵理、鈴木竜太、宮尾 学

陪 席

岡田将稔、松嶋 登

初めに、國部研究科長から、経営学部・経営学研究科の教育プログラムについて、令和6年度の取組み概要として、経営データ科学教育プログラム5年一貫コース、KIBER・KIMERA、KIMAP（Kobe University Interdisciplinary Master Program）、対話型ビジネス価値共創人材養成プログラムについて説明があった。また、経営学研究科の総収入における国の運営費交付金と外部資金の比率について説明があり、産学連携関係の2024年度の成果と2025年度の課題について説明があった。

次に、三矢 MBA 教務委員から、2024 年度 MBA プログラムについて、2024 年度の入学
者数、ケース・プロジェクト、テーマ・プロジェクトの報告、また、2025 年度の受験者の大
幅増加、MBA 35 周年記念イベント、海外との共同プログラムの派遣先スクールの変更につ
いて説明があった。

次に、宮尾現代経営学専攻長から、MBA の多様性推進について、MBA における国際化の
課題、MBA 入学生の女性比率、MBA 多様性推進基金、多様な学生の修学を支える環境の整
備について説明があり、また、加護野忠男論文賞の書籍化について報告があった。

次に、鈴木経営学専攻長から、ネットワーク型大学院構築事業について、プログラムの概
要と進捗、2024 年度の履修状況、事業報告、委員現地視察報告に関する情報共有について
説明があり、また、2025 年度の事業計画及び現状の課題について報告があった。

これらの報告の後、本研究科が取り組んでいる内容に関してアドバイザー・ボード委員
から、MBA Cafe のネットワーク化の充実、異業種交流による刺激、MBA の働きながら学
べることの利点、MBA のマーケティング、国際性に関して MBA 入試で英語をなくしたこと
による語学力の今後の検証、仲間づくり・共創が大事であり BVCC プログラムは良い取組で
あること、観光をテーマとした取組み、キャリアデザインの研修、学部への展開、産学連携
をさらに高めていくこと、ファミリービジネスをテーマとした取組み、日本の魅力の発信、
ダイバーシティの取組みなど、多岐にわたるアドバイスやコメントがあり、出席者による活
発な意見交換が行われた。